

3.初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数

癌の5大癌と呼ばれる、胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌の症例数を初発のUICC病期(ステージ)分類別、および再発に分けて集計しました。

定義

- ◇集計期間に退院した症例
- ◇同じ患者さんが複数回入院している場合はそれぞれ1例としてカウント
- ◇初発例としてカウントした患者は再発例にはカウントしない。
- ◇国際対がん連合(UICC)によって定められた、※原発巣の大きさや進展度(T)、所属リンパ節への転移状況(N)、遠隔転移の有無(M)の要素によって各癌を0期～Ⅳ期の5病期(ステージ)に分類
※原発巣…癌が最初に発生した場所にある病巣

部位	UICC 病期分類(ステージ)(初発)					再発
	I	II	III	IV	不明	
胃癌	12	3	1	12	0	5
大腸癌	8	14	18	46	3	20
乳癌	12	11	4	2	0	4
肺癌	0	0	1	2	1	0
肝癌	1	1	4	4	0	8

UICC 分類第 8 版

解 説

当院での癌症例を病期分類で見た場合、胃癌と大腸癌はステージが進行している症例が多くなっていますが、同じ患者さんが化学療法のために複数回入院をしているためです。

乳癌は初期ステージの症例が多く、半数以上の患者さんが乳腺悪性腫瘍切除を行っております。癌が再発した場合には化学療法が治療の主体となりますが、当院では化学療法専任の看護師や薬剤師が医師と協力して治療、副作用対策を行っているため、安心して治療を継続することが可能です。

また、放射線治療（トモセラピー）の設備があり、乳癌や前立腺癌などは外来通院で照射を行っています。他医療機関から放射線治療目的の紹介も受け入れしています。